

平成30(2018)年5月1日

高等学校長・中等教育学校長 殿
社会科(地歴・公民科)主任 殿

神奈川県高等学校教科研究会長 井坂 秀一
(県立柏陽高等学校長)
同 社 会 科 部 会 長 大沢 利郎
(県立愛川高等学校長)
同 社 会 科 部 会 理 事 長 宮崎 吾郎
同 社 会 科 部 会 歴 史 分 科 会 長 澤野 理
(公印省略)

歴史分科会高大連携講座 ～ 「近代のヨーロッパをどのように学ぶか」 への参加について (依頼)

新緑の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は当部会の活動にご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、歴史分科会では生徒の学力向上と教員の授業力向上を目的とした夏季研修講座を次のとおり開催いたします。午前中は、難関大学をめざす公立・私立の高校生に対する授業、午後は、その授業についての研究協議です。つきましては、校務ご多忙の折、誠に恐縮とは存じますが、貴校の職員の出張につきまして、格別のご高配を賜りますよう、お願い申し上げます。また受講を希望する生徒がおりましたら、担当までご連絡いただければ幸いです。

1 趣旨

近年の高大連携は、高校の教科・科目の内容にも大きく関与するようになってきました。当分科会が平成19(2007)年より始めた高大連携講座は、生徒・教員の双方から高い評価をいただき、また、平成23(2011)年からはNPO 神奈川県歴史教育研究会の協賛をいただき講座の充実につとめてまいりました。おかげさまで、ここ2年の講座では3日間で延べ300人を超える生徒・教員に参加いただいております。アジア史の新たな視点を学べる講座として、年ごとに有名となってきました当講座ですが、昨年度より、ヨーロッパ史を中心テーマにおいて新たな分野に挑戦しています。

近代ヨーロッパ史は、国民国家の形成・産業化・帝国主義と植民地支配など、新科目「歴史総合」で重視する内容がとの関わりが多い分野です。また、古くから研究の蓄積が厚いことに加え、近年は新たな視点に立脚した研究成果も現れ、大学入試の場面においても(日本史・世界史ともに)新傾向の出題が見られるようになりました。そのため、この分野の新たな視点による教材化は、今後ますます重要になると考えられます。こうした状況を踏まえて、授業実践や最近の学会の事情などを大学側と協同で研修を深める意義は大きいと考えます。

2 内容

(1) 場所 栄光学園高等学校 (〒247-0071 鎌倉市玉縄4-1-1)

(2) テーマおよび講師

8月6日(月) 「近代のイギリス」

講師 中村 武司 (弘前大学)

大賀佐和子 (県立港北高等学校)

8月7日(火) 「近代の北欧」

講師 古谷 大輔 (大阪大学)

佐藤 靖彦 (県立氷取沢高等学校)

8月8日(水) 「近代の中東欧」

講師 中澤 達哉 (早稲田大学)

安達 淳 (群馬県立前橋高等学校)

* 桃木至朗先生(大阪大学)には、3日間を通じてのコーディネーターをお務めいただきます。諸事情により、講師が変更となる場合があります。

(3) 時程 (3日間共通)

9:30~10:30 高等学校教員による授業

10:40~12:10 大学教員による授業

12:10~12:30 個別質問時間

13:30~15:00 当日の授業実践についての研究協議

15:10~17:00 当日のテーマについての研究協議

* 午後の研究協議は、教員対象です。1日のみの参加も歓迎いたします。奮ってご参加ください。

・派遣旅費につきましては、誠に恐縮ですが、貴校にてご負担くださいますよう、お願い申し上げます。

以上

問合せ先

県立逗子高等学校 澤野 理

TEL 046-871-4717 FAX 046-871-0494

E-mail: o-sawano@open-kanagawa.ed.jp